

16年度の国内旅行の市場環境はどうか。団体は、宿泊・宴会MICEが7.0%増と、北日本の集中豪雨など自然災害の多い年だった。改めてお見舞い申し上げます。観光復興に継続的に取り組んでいきたい。

「15年度は北陸新幹線開業、ふるさと納税、シルバークロスなどプラス要素が多く、昨年度はその反動が出た。個人消費も低迷し、節約志向も高まっていると感じる一年だった。」

「そうした環境の中でJTBの販売状況は、国内個人が苦戦し、訪日インバウンド好調、法人MICEは企業業績と連動し堅調だった。WEB化の加速や海外OTAの伸長、ダイナミック化(価格変動性)などマーケット環境変化が顕著に表れた中で、エースは3007億円、前年比3.9%減と苦戦した。ただ販売額では過去4年間で一定の規模は維持できた。ただ販売額では過去4年間で一定の規模は維持できた。ただ販売額では過去4年間で一定の規模は維持できた。」

2017年度の宿泊販売で4500億円目標に再度挑み、その必達を目指すJTB。宿泊販売を含む国内旅行販売の重点施策と、JTB旅ホ連との連携について、常務取締役でJTB国内旅行企画社長の大谷恭久氏に聞いた。常務取締役で国内事業本部長の今井敏行氏には昨年4月1日からスタートする経営改革の詳細を語ってもらった。

国内旅行販売



常務取締役 JTB国内旅行企画社長 大谷恭久氏

需要喚起へ仕掛けと変革

「国内旅行の販売拡大に向けた施策は、今年度は、『仕掛けと変革の年』だ。新しい価値と需要の創造、環境変化への対応が不十分だった。DPCも四国、信州、山口などで実施される。さまざまな素材を生かした企画性の高い商品づくりをやりたい。」

「国内旅行の販売拡大に向けた施策は、今年度は、『仕掛けと変革の年』だ。新しい価値と需要の創造、環境変化への対応が不十分だった。DPCも四国、信州、山口などで実施される。さまざまな素材を生かした企画性の高い商品づくりをやりたい。」

「国内旅行の販売拡大に向けた施策は、今年度は、『仕掛けと変革の年』だ。新しい価値と需要の創造、環境変化への対応が不十分だった。DPCも四国、信州、山口などで実施される。さまざまな素材を生かした企画性の高い商品づくりをやりたい。」

JTBトップインタビュー

なぜ今、経営改革を断行するのか。

「06年の4月に分社化を実施した。これは多様化する市場に向き合っていくための課題に対してスピードをもって解決するという大きな目的があった。その結果、地域での意思決定のスピードが間違いなく早まった。また地域に密着したことで、国家戦略とも連動した交流文化事業の拡大や、専門性の特化によりMICEなどの事業も拡大した。何よりも社員の地域に対するロイヤリティが向上した。」

経営改革



常務取締役 国内事業本部長 今井敏行氏

製販一体で総合力を発揮

「16年度は、『JTB』ならではの価値を提供する『エース』と、『個人では手配できない。あるいは、商品内容や販売チャネル、店頭コンサルについて他社がなかなかできない。そういったものを提供」

「エースは、『JTB』ならではの価値を提供する『エース』と、『個人では手配できない。あるいは、商品内容や販売チャネル、店頭コンサルについて他社がなかなかできない。そういったものを提供」

「エースは、『JTB』ならではの価値を提供する『エース』と、『個人では手配できない。あるいは、商品内容や販売チャネル、店頭コンサルについて他社がなかなかできない。そういったものを提供」

JTB旅ホ連特集

能登を旅すると、本物の日本にめぐり逢える。

旅の喜びを、日本の四季を、ゆっくりとご堪能ください。

【下留の湯】天井・柱・壁の檜の他、恵那のさび石を使ったこだわりの大浴場。高温・低温浴槽や檜風呂・サウナと多彩にお楽しみいただけます。

下呂温泉 水明館

岐阜県下呂市幸田 1268
TEL(0576)25-2800 FAX(0576)25-4520
URL: http://www.suimeikan.co.jp/

能登半島国定公園・和倉温泉 加賀屋 加賀屋予約センター

能登半島ホテル 加賀屋 加賀屋(登録第177号)

☎(0767)62-4111

〒926-0192 石川県七尾市和倉温泉 ☎大代表(0767)62-1111 FAX(0767)62-1121 http://www.kagaya.co.jp/ 加賀屋 検索